

平成24年度

湯梨浜町教育行政の点検及び評価

平成25年6月

湯梨浜町教育委員会

## 目 次

はじめに

・・・・・・・・・・ P 2

平成24年度湯梨浜町教育委員会点検・評価の一覧

・・・・・・・・・・ P 3

教育委員会議及び教育委員の活動

・・・・・・・・・・ P 35

## はじめに

### 教育委員会の事務の点検・評価制度の導入について

湯梨浜町教育委員会は、まちづくりのテーマである『げんき・いきいき・かがやきのまちづくり』を目指して、基本理念である「次代を担う 心豊かな 人づくり」の実現に向けて、住民を主役とした生涯学習の推進と学校教育の充実の向上に努めているところです。

さて、平成19年6月に「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部が改正（平成20年4月1日施行）されました。

この改正では、効果的な教育行政の推進に資するとともに、町民への説明責任を果たしていくために、教育委員会が所掌する事務の管理・執行状況について点検・評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出し、公表することが義務付けられました。

湯梨浜町教育委員会は改正の趣旨に即し、平成24年度の事務事業について「教育委員会事務の自己点検・評価」を実施し、報告書にまとめました。

(参考) 地方教育行政の組織及び運営に関する法律

(平成19年6月27日一部改正)

第27条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第3項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

## 平成24年度湯梨浜町教育委員会点検・評価の一覧

湯梨浜町教育委員会では、「平成24年度湯梨浜町教育要覧」にまとめている下記の重点・具体的施策を目指すところ、施策の自己評価、H24成果、H24課題及びH25対応方針の項目別に点検・評価を行いました。

- 1 生涯にわたって自ら学び、その成果を社会で生かし、明日を託す子どもたちに還元する体制づくり
  - (1) 人がつながる学びの機会と場の提供
  - (2) 子育て親育ちの家庭教育の充実
  - (3) 子どもと関わりをもつ地域の仕組みづくり
  
- 2 ワンランクアップの「知」「徳」「体」の調和のとれた学校教育の推進
  - (1) 進路が保障される学力の定着
  - (2) 美に感動する心と行動化への意欲づけ
  - (3) スポーツの習慣化
  - (4) 幼保一体の幼児教育の推進
  - (5) 特別支援教育の充実
  
- 3 学校を支える教育環境の整備
  - (1) 中学校統合の推進
  - (2) 15年一貫教育の創造
  - (3) 学校支援ボランティアの拡大と定着
  
- 4 町民1人1スポーツの推進
  - (1) 生涯スポーツの全国発信
  - (2) 競技スポーツが継続できる環境整備
  - (3) 健康づくりのウォーキング
  
- 5 歴史的文化遺産の活用と新たな文化の創造
  - (1) 文化財解説ボランティアガイドの育成
  - (2) 文化活動のサークル育成
  
- 6 湯梨浜町教育振興基本計画の推進に向けた体制づくり
  - (1) 町民との協働による開かれた教育行政の推進
  - (2) 関係機関・団体との連携・協力の推進

【自己点検・評価の流れ】

- ① 毎年教育委員会としての重点目標を策定（毎年3月まで）  
↓
- ② 事務局（教育総務課、生涯学習・人権推進課）による自己評価  
↓
- ③ ②の自己評価を教育委員会に諮り、意見を伺う  
↓
- ④ 教育委員会において、議会に報告する報告書を提出し承認を得る  
↓
- ⑤ 報告書を町議会に提出し、報告する（毎年6月定例町議会）  
↓
- ⑥ ホームページ等で町民に公表する  
↓
- ⑦ ①の中間報告を実施（毎年10月の教育委員会で報告）

※到達度について

目指すところへの到達状況を、今までの取組により得られた成果を踏まえて自己評価を行う。

到達度	各施策の目指すところについて
A	目的・目標を達成した
B	ほぼ計画（予定）どおりに実施した
C	取組みは進めたが、成果が出ていない
D	取組むことができなかった

1. 生涯にわたって自ら学び、その成果を社会で生かし、明日を託す子どもたちに還元する体制づくり

目指すところ	(1) 人がつながる学びの機会と場の提供	
施策の 自己評価	①各分野のボランティア講師登録制度を確立するためのゲストティーチャー制度の推進	C
	②時代に対応した知識、教養の学習及び趣味講座を通して、生活文化の振興を図る各種講座の充実	A
	③利用者がいつでも気持ちよく気軽に来館できるための施設・設備の維持管理、ロビーなどの有効活用（ミニロビー展等）など各館の管理運営の充実	A
	④泊地域における各種公民館事業の展開・促進	B
	⑤町民の多様な要求に応えるため、時代に即した幅広い分野の図書の購入及び資料収集	B
	⑥利用増進を図るため、新着図書情報の発行・広報紙への掲載及びホームページ等による情報発信	B
	⑦町民の求める図書の積極的貸出及び学習相談の対応	B
	⑧図書館の活動をPRしながら貸出利用を促進するための子育て支援事業のブックスタートへの協力	A
	⑨小さい時から本に親しんでもらうための幼児・児童を対象とした絵本の読み聞かせの実施	B
	⑩住民の様々な相談に対する生活相談員のきめ細かい対応	B
	⑪地区住民の福祉向上と児童の健全育成に資する隣保館・児童館運営事業の充実	B
	⑫地区内の各種団体活動の支援	B
	⑬解放文化祭による人権文化の高揚の推進	A
	⑭児童生徒の人権教育を主体に推進するための教職員の指導活動事業の推進	A
	⑮人権教育の推進を図るための各種大会等研修会への派遣	B
	⑯小中学校の人権教育推進のための小・中学校人権教育推進補助	B
	⑰人権教育の推進を図るため、さまざまな人権課題を取り上げた部落問題懇談会の充実	A
	⑱人権教育推進員の指導・助言による人権教育推進体制の充実	B

	⑱町人権教育推進協議会の充実	A
	⑳研究推進員の研修による資質向上	B
	㉑障がい者理解を深め、差別のない住みよい町づくりを目指した人権コンサートの開催	B
	㉒町民の人権教育推進のための人権教育推進大会の開催	A
H 24 成果 及び取組状況	<p>①文化大学趣味コース等で町内在住講師を発掘し、活用してきたが、登録制度確立までには至らなかった。</p> <p>②</p> <p>○パソコン教室（初心者向）10日間2コース開催（9月～12月） 受講延べ112人</p> <p>○一般教養講座</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・光長真理恵（ソプラノ歌手）と文化大学音楽グループコンサート 1月開催 82人参加</li> <li>・矢野大和の笑って口演会 2月開催 104人参加</li> </ul> <p>○趣味講座</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中央公民館（粘土造形・クラフト教室 10月 3回）</li> <li>・泊分館（夏休み親子おもしろ講座 8月）</li> <li>・羽合分館（羽衣天女伝説現地探訪、天女のぬり絵 8月）</li> <li>・湯梨浜文化大学 全体教養講座10回（音楽・いきがい、健康、社会見学等 参加者延べ896人） 趣味講座（童謡唱歌・書道・絵手紙・軽運動・歴史・グラウンドゴルフ等16コースそれぞれ7回ずつ実施 参加者延べ1,450人）</li> </ul> <p>③</p> <p>○維持管理…各種施設管理委託4～5月実施。常時、館内清掃及び美化活動の実施。</p> <p>○ミニロビー展…折紙花手毬展、サンテリオン入所者作品展、寒蘭展、文化大学趣味コース作品展等 計10回</p> <p>④泊地域における各種公民館事業</p> <p>○部落公民館交流グラウンド・ゴルフ大会 9月開催 67人参加</p> <p>○とまりスポ・レク祭 10月開催 146人参加</p> <p>○とまりあったか祭り 1月開催 190人参加</p> <p>○青少年教育（干支づくり、健全育成講演会）及び女性学級（ケーキづくり）、成人教育（健康教室） 12月～3月開催 延べ参加者数95人</p> <p>⑤利用者のニーズ、各分野のバランスに配慮しながら計画的な購入</p>	

	<p>を行なった。</p> <p>⑥新着図書情報月2回発行、広報（本の広場）に毎月掲載、ホームページ、ケーブルTVなどで情報発信を実施した。</p> <p>⑦利用者の調べものや探しものに対して積極的に対応し、図書館サービスの充実を図った。</p> <p>⑧乳幼児のブックスタート8回、1歳児検診時に読み聞かせ5回を実施し図書館PRを行なった。</p> <p>⑨おはなし会による絵本の読み聞かせを10回実施。小学生向けの朗読会6回実施。</p> <p>⑩文化会館を拠点とし生活相談を行った。また、浜地区へ毎月第2・4水曜日に出かけて生活相談を行った。</p> <p>⑪昨年以上の参加者を目標に、様々な事業に取り組んで進めた。啓発活動として、小学校、保育所等の児童館だよりを発行して参加者の増加に取り組んだ。</p> <p>⑫田畑二地区（7団体）、浜地区（1団体）に補助金を支出した。</p> <p>⑬12月8日（土）、9（日）開催の部落解放文化祭に向けて、実行委員会を開催し、事業推進を図った。</p> <p>⑭人権学習・仲間づくりを主に毎週各学習会を開催した。（田畑二地区小・中学校、浜地区小・中学校）</p> <p>⑮各種大会等に参加し研修・交流を図った。</p> <p>⑯小・中学校が行う研修、研究及び学習に対し5校に補助金を支出。</p> <p>⑰年5回開催し「身近におこる差別」、「子どもの人権問題」、「障がい者・高齢者・犯罪者の人権問題」、「メディアにおける人権問題」、「部落問題と人権問題のかかわり」をテーマに学習し認識を深めた。（参加延べ人数515人）</p> <p>⑱人権教育推進のための各種の教育・啓発に積極的な取組みを展開している。</p> <p>⑲5月総会で人権教育推進協議会へ名称を変更し、部落差別をはじめとするあらゆる人権問題の解決に向け取組みを図っている。</p> <p>⑳研究推進員を中心に意識調査の分析・考察など3回実施し研究及び検証を行なった。</p> <p>㉑6月24日（日）に全町民を対象に実施し298人（満足度（理解度）95.4%）が参加し手話を通じて、人と人とのつながりの大切さなどについて理解を深めた。</p> <p>㉒10月21日（日）に全町民を対象に実施し276人（満足度（理解度）97.1%）が参加し部落問題をはじめ障がい者、ハンセン病などのさまざまな事例を取り上げ、あらゆる差別をなくすための理解を</p>
--	---



	<p>深めた。また、昨年7月に差別落書きの発生を受け、住みよい町づくりにつながるよう差別落書き報告を行った。</p>
<p>H 24 課題</p>	<p>①ボランティア講師の範囲や、無償講師の引き受け手に苦慮した。さらに人材掘り起こしのため、情報収集に努める必要がある。</p> <p>②一般教養講座及び文化大学事業は概ね良い評価を得たが、趣味講座については、行き当たりばったりの感があった。もう少し内容を吟味しながら住民、時代のニーズに沿ったものを企画する必要がある。パソコン教室については機種も相当古くなり、事業の存続について再考する時期である。</p> <p>③中央公民館及び泊分館ロビーの有効活用（ミニロビー展等）と羽合分館での作品展示ができないものか検討する必要がある。</p> <p>④3つの大きな住民交流事業（GG大会、スポ・レク祭、あったか祭り）については定着しているものの、事業内容を練り直す時期にきている。各種講座、教室についてはもっと力を入れ取り組んでいく必要がある。</p> <p>⑤資料購入費が限られており、町民の求める図書に対して他館からの借りで対応せざるを得なかった。</p> <p>⑥特になし。</p> <p>⑦図書等の相談に即時に対応できるような資料作成が必要である。</p> <p>⑧ブックスタート対象者の図書館利用の促進が必要である。</p> <p>⑨おはなし会の開催回数を増やせないか。</p> <p>⑩生活相談日を広く周知を図る必要がある。</p> <p>⑪子どもたちが一層来館し事業にたくさん参加してもらえるよう計画し周知する必要がある。</p> <p>⑫諸団体活動の内容等を見直す必要がある。</p> <p>⑬事業内容等の検証と検討する必要がある。</p> <p>⑭事業を充実させる取組みと事業全体を検討する必要がある。</p> <p>⑮毎年研修に参加しているが、それを活かすことが必要である。</p> <p>⑯小・中学校5校に対し補助金を支出しているが事業に対する補助金を見直す必要がある。</p> <p>⑰参加者が減少及び固定化している。</p> <p>⑱人権教育推進に向け事業所訪問等の積極的な関わりをもつ必要がある。</p> <p>⑲各部会事業の充実と活性化を図る必要がある。</p> <p>⑳研究推進員のより一層の資質向上と有効な活用が求められる。</p> <p>㉑より一層の参加者が参加できるよう、啓発及び周知を図る必要がある。</p>

	<p>ある。</p> <p>②より一層の参加者が参加できるよう、啓発及び周知を図る必要がある。</p>
H25 対応方針	<p>①関係課及び関係機関と連携し、情報収集に努める。</p> <p>②各分館で事業企画書を作成、年間を通して教養講座や趣味講座を計画的に事業展開し、更なる充実をめざし、人が繋がる場を提供する。</p> <p>パソコン教室については機種も相当古くなっており、また民間等での教室開設もかなりある状況に鑑み、本年度をもって事業終了としたい。</p> <p>③利用者の方がいつでも気持ちよく気軽に来館できるよう館内の清掃美化及びより良い接遇に努める。ロビー展も町内外の個人及び団体を勧誘し充実させる。また羽合分館での展示事業ができるよう創意工夫する。</p> <p>④泊地域を新しい公民館体制移行のモデル地区と捉え、既存事業の見直しを実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・泊分館公民館まつり（とまりあったか祭りの衣替え）</li> <li>・各地区への出前講座</li> <li>・部落公民館との連携による地域住民作品展</li> </ul> <p>⑤限られた予算の中での図書購入、相互貸借を利用しながら町民の要求に応える。</p> <p>⑥広報、情報発信等を実施し利用促進を図る。</p> <p>⑦図書等に関する相談に的確に対応できる体制、資料等を充実させる。</p> <p>⑧ブックスタート後の取組みとして1歳児検診時の読み聞かせ、図書館主催のおはなし会などを行い絵本とのふれあいを促進する。</p> <p>⑨ボランティアの活用を図り、図書館主催のおはなし会を月1回以上行なう。</p> <p>⑩地区へのチラシ配布等を行い相談日の周知を図る。</p> <p>⑪さまざまな事業を定期的に計画し子どもたちの参加・来館を促す。</p> <p>⑫諸団体活動を見直す場を設け今後の活動等を検討する。</p> <p>⑬実行委員会で事業の充実が図れるよう協議する。</p> <p>⑭教職員に対する報償費を時間数から実施回数に変更し対応する。</p> <p>⑮参加者が学んだことを報告できる場を提供する機会を検討する。</p> <p>⑯小・中学校5校に対し補助金を支出しているが25年度は減額し</p>

	<p>補助する。</p> <p>⑰ゆりはま人権セミナーへ名称を改め、声かけ運動の取組みを図り初めて参加する方々を増やす。</p> <p>⑱あらゆる場面で人権教育推進に向けた教育・啓発に積極的に取り組む。</p> <p>⑲全体事業をはじめ各部会における事業の活性化と充実を図る。</p> <p>⑳研究推進員を出前講座などで積極的に関われる環境を整える。</p> <p>㉑初めて参加する方を増やすために、啓発及び周知を一層図る。</p> <p>㉒初めて参加する方を増やすために、啓発及び周知を一層図る。</p>
--	---

目指すところ	(2) 子育て親育ちの家庭教育の充実	
施策の 自己評価	①食育教育講演会の開催	A
	②子育て支援課と連携した「ゆりはま家族の日」の実施	B
	③小・中学校が連携して取り組むための方策を検討する研究 主任会の開催	B
	④全国学力・学習状況調査の分析及び結果の公表	B
	⑤湯梨浜町子育て・親育ち6か条の普及・啓発	C
	⑥計画訪問や要請訪問による保育所・幼稚園への指導提言	A
H24 成果 及び取組状況	<p>①小中はPTA研修会に位置づけてもらい参加を呼びかけ、保幼は園から呼びかけてもらいたくさんの保護者の参加があった。</p> <p>②各小学校に標語作品募集を行い、168点の応募があった。</p> <p>③町全体では2回の会をもち、他に中学校区ごとでも3回の会を持って話し合った。</p> <p>④12月になってしまったが、結果、分析、対策について公表した。</p> <p>⑤学校任せになってしまった。</p> <p>⑥保育所・幼稚園には、親支援、家庭支援の重要性について話をしていた。子育て講演会で、保護者にも直接伝えることもできた。</p>	
H24 課題	<p>①特になし</p> <p>②主旨の定着を図っていくこと。</p> <p>③連携の中身を濃くすること。</p> <p>④公表の時期が遅くなってしまった。</p> <p>⑤小中学校での具体的な取組みがなされなかった。</p> <p>⑥私立の園への訪問ができなかった。</p>	
H25 対応方針	<p>①健康推進課と連携して、講演のよさを伝えて出席者の増加を図る。</p> <p>②企画課、学校との連携を強化して取り組む。</p> <p>③小中連携してのノーメディアデーの取組みを行う。</p> <p>④段階的に早い時期から公表していく。</p> <p>⑤小中のPTAを巻き込んでの具体的な取組みを実施する。</p> <p>⑥全園への実施をする。</p>	

目指すところ	(3) 子どもと関わりをもつ地域の仕組みづくり	
施策の 自己評価	①親子で生の優れた芸術文化や体験活動等を通して、地域とのふれあいを図るための親子・地域力推進事業の実施	A
	②公民館サークル活動及び各地域で活動される文化団体の育成	B
H24 成果 及び取組状況	<p>①</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○人形劇等講演…12/9実施(委託契約) 参加者36人</li> <li>○放課後子ども教室:東郷4箇所、泊1箇所、羽合1箇所 計6箇所にて実施 延べ児童参加者 1,417人</li> <li>○泊文化少年団事業の実施(島根原子力館、ちまきづくり、異年代交流GG、パステルアート、みそ・豆腐づくり など13回) 延べ参加者数 203人</li> </ul> <p>②</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○活動成果発表の場として住民作品展、芸能大会への出場 <ul style="list-style-type: none"> <li>・住民作品展(出展者数 429人 出展作品数 705点)</li> <li>・芸能大会(出演団体数 37団体 出演者数 198人)</li> </ul> </li> <li>○各地区公民館で活動されるサークル、団体への地区公民館の育成支援</li> </ul>	
H24 課題	<p>①放課後子ども教室、泊文化少年団事業は順調にきているが、人形劇公演は当日大雪に見舞われ、参加者の減となってしまった。委託団体、予算とのこともあるが、開催時期の見直し検討を要する。</p> <p>②住民作品展、芸能大会への出展、出演の底辺拡大が必要である。</p>	
H25 対応方針	<p>①青少年の体験の場を中心とした事業展開による参加人数の拡大を図る。また人形劇公演は9月を目途に開催する。</p> <p>②各地区公民館で活動されるサークル、団体への住民作品展、芸能大会及び公民館ミニロビー展の活用など積極的に働きかける。</p>	

2. ワンランクアップの「知」「徳」「体」の調和のとれた学校教育の推進

目指すところ	(1) 進路が保障される学力の定着	
施策の 自己評価	①全国学力・学習状況調査、標準学力検査の実施と活用	B
	②放課後学習・サマースクール支援事業の実施	A
	③県の「少人数学級を活かす学びと指導の創造事業」と連携した校内授業研究会の開催	A
	④研究主任等による学力向上推進のための委員会の開催	B
	⑤エキスパート教員による示範授業と指導提言	B
	⑥食育教育講演会（湯梨浜町・湯梨浜町教育委員会・湯梨浜町PTA連合会主催）の開催	A
	⑦「湯梨浜町子育て親育ち6か条」の普及・啓発・浸透	C
	⑧学級経営力の向上に視点をあてた「子どもたちの社会性を育む事業」の実施と活用	B
	⑨キャリア教育・職場体験学習の実施	B
H24 成果 及び取組状況	<p>①各校で分析、その後の対策を講じてもらうよう指導した。</p> <p>②個に応じた指導をする場、学ぶ意欲を育む時間として取り組めた。</p> <p>③各校で計画的に実施し、教師の意識改革・授業改善へとつながった。</p> <p>④話し合いで方向性は確認できた。</p> <p>⑤町の初任研で授業公開・指導助言を行った。</p> <p>⑥町のPTA研修会に位置づけ、参加を募った。</p> <p>⑦小中での取組みは学校任せであった。</p> <p>⑧東郷小・中学校でHyper-QUを2回実施し活用に努めた。</p> <p>⑨両中学校で職場体験学習を中心に3年間の進路指導を進めた。</p>	
H24 課題	<p>①学校の取組みに対する指導助言ができていない。</p> <p>②中学校では、時間の確保が難しかった。</p> <p>③校種間での学び合いが不十分であった。</p> <p>④話し合った取組みを共通実践していくところまで至らなかった。</p> <p>⑤初任研以外での活用が学校単位でしかできなかった。</p> <p>⑥教職員の参加も多かったが、保護者の参加をもっと増やしたかった。</p> <p>⑦具体的な取組みを示すことができなかった。</p> <p>⑧調査結果を丁寧に見とり分析することが不十分だった。</p> <p>⑨小学校におけるキャリア教育及び中学校の「社会人に学ぶ事業」</p>	

	の取組みの充実が必要である。
H25 対応方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>①町としての分析を示し、具体的取組みを話し合い実践していく。</li> <li>②学校の実態に応じた取組みを支援する。</li> <li>③全体研修会を実施し、小中連携しての授業改善に取り組む。</li> <li>④町教研を活用して、取組みを進める。</li> <li>⑤町としての活用の仕方を考えて実施する。</li> <li>⑥よさを伝えて、多くの方に来てもらえるように案内していく。</li> <li>⑦具体的な取組みになるよう働きかける。</li> <li>⑧調査に堪能な県教委指導主事等を招聘し活用を深める。</li> <li>⑨「社会人に学ぶ」授業の実態を指導主事が把握し、今後の方向性を検討する。</li> </ul>

目指すところ	(2) 美に感動する心と行動化への意欲づけ	
施策の 自己評価	①道徳教育年間指導計画に沿った道徳の時間の授業公開	A
	②人権教育全体指導計画・年間指導計画の改善	A
	③学級経営力の向上に視点をあてた「子どもたちの社会性を育む事業」の実施と活用	B
	④効果的な体験活動及び芸術鑑賞教室の実施 (赤ちゃん登校日・安岡寺小学校交流・ヴァイオリンコンサート・中学生議会)	A
	⑤各校の特色を生かしたボランティア活動・体験活動等の実施	A
	⑥アロハフレンドシップ・ハワイアンフェスティバルの際の交流活動の推進	A
	⑦保育所、幼稚園、小・中学校におけるALTの効果的な活用	B
	⑧不登校・いじめ問題に関する支援・対策会議への指導主事の参加と協力	C
	⑨不登校対策委員会の開催	B
	⑩スクールカウンセラー・子どもと親の相談員の活用	A
H24 成果 及び取組状況	<p>①計画訪問、学事訪問で授業公開がなされた。</p> <p>②主任者会を2回開催し、人権教育課指導主事の助言のもとに指導計画の改善に努めた。</p> <p>③東郷小・中学校でHyper-QUを2回実施し活用に努めた。</p> <p>④上記の体験活動等を計画的に開催することができた。</p> <p>⑤各課の大会・イベント等を年度前に行事予定に組み込み、円滑に運営することができた。</p> <p>⑥各校と事前に交渉し、効果的な交流活動を進めることができた。</p> <p>⑦小中学校においてはALTの効果的な活用を行うことができた。</p> <p>⑧小・中合同で不登校に関する支援会議を実施することができた。</p> <p>⑨3回の開催計画のうち、1回は「教育を考える会」として民生児童委員を中心に不登校問題について協議を深めた。</p> <p>⑩不登校問題を中心にして各校で有効に活用することができた。</p>	
H24 課題	<p>①継続的な取組みを行う。</p> <p>②小・中学校の連携がさらに必要となる。</p>	



	<p>③調査結果の分析及び職員研修の充実が必要である。</p> <p>④特に中学生議会の日程に考慮が必要である。</p> <p>⑤各校がバランスよく参加する体制づくりが必要である。</p> <p>⑥特になし</p> <p>⑦保育所・幼稚園で異年齢で交流することが多く、ALTが対応に苦慮することが見られる。</p> <p>⑧就学に関する支援会議が多く、不登校等での要請が少ない。</p> <p>⑨不登校に悩む保護者とのつながりが難しい。</p> <p>⑩特になし</p>
<p>H25 対応方針</p>	<p>①本年度も計画訪問、学校公開での道徳授業の公開を行う。</p> <p>②小・中学校で協議できる町教研を開催する。</p> <p>③県教委指導主事等に派遣依頼をし、校内研修会の充実に努める。</p> <p>④安岡寺小との交流は廃止し、中学生議会は隔年実施とする。</p> <p>⑤校長会・教頭会等で共通理解してバランスのとれた協力体制を構築する。</p> <p>⑥今後も関係各課との連携を深め運営に協力する。</p> <p>⑦保幼でALTとの交流のねらいを明確化する。</p> <p>⑧町が保護者との懇談会を企画し、学校との橋渡しを行う。</p> <p>⑨上記⑧の保護者懇談会を計画的に行う。</p> <p>⑩指導主事がカウンセラーや相談員に会って懇談する機会を設定する。</p>

目指すところ	(3) スポーツの習慣化	
施策の 自己評価	①学校行事とスポーツ少年団活動との調整	A
	②町主催各種大会・行事の積極的なPRの実施	B
	③小・中学校の体力の課題を踏まえた保育・教育課程の改善	B
	④新体力テストの結果を踏まえた対策の実施	C
	⑤食育教育講演会(湯梨浜町・湯梨浜町教育委員会・湯梨浜町PTA連合会主催)の開催	A
H24 成果 及び取組状況	<p>①教育施設係とスポーツ振興係と連携、調整を図り、有効的に施設利用・活動ができた。</p> <p>②HP、TCC、町報などを利用し大会案内・結果等を公表し、各種大会へほぼ例年通りの参加者があった。</p> <p>③各園各校で実態に合わせた取組みが行われた。</p> <p>④園・学校での取組みだった。</p> <p>⑤PTAの研修会に位置づけて参加を呼びかけた。</p>	
H24 課題	<p>①学校行事など重ならないように、今後も継続して調整することが必要である。</p> <p>②今後も参加者が減少傾向とならないように継続してPRすることが必要である。</p> <p>③学校任せになってしまった。</p> <p>④取組みの成果の把握ができていない。</p> <p>⑤スポーツとの関わりでのPRはしなかった。</p>	
H25 対応方針	<p>①継続して実施する。</p> <p>②継続して実施する。</p> <p>③実態把握と指導助言を実施する。</p> <p>④町教研を活用して成果の把握と対策について町として共通理解する場を設ける。</p> <p>⑤自分で作る喜びが良い食生活へつながり、良い食生活が健康作り・体作りにもつながるという視点での呼びかけも行いたい。</p>	

目指すところ	(4) 幼保一体の幼児教育の推進	
施策の 自己評価	①職員研修会の開催（子育て支援課共催）	A
	②所長・園長会での研究協議	A
	③湯梨浜町子育て・親育ち6か条の普及・啓発	B
H24 成果 及び取組状況	①職員研修会の計画的実施ができ、参加者も多かった。 ②課題を認識し、次への取組みとつながる協議となった。 ③各園の保護者研修会で普及啓発していった。	
H24 課題	①時間設定への配慮が必要である。 ②見通しをもった計画的な運営ができなかった。 ③幼児期の子どもとの関わりの中での話はできたが、6か条に特化した話は実施できていない。	
H25 対応方針	①教職員の希望を活かした研修会の内容、運営にしていく。 ②年間の見通しをもって協議内容を決定していく。 ③子育て親育ちに特化した研修会の実施をしていく。	

目指すところ	(5) 特別支援教育の充実	
施策の 自己評価	①授業研究会の開催・ケース共有会議の開催	A
	②保護者のニーズを反映した校内就学指導委員会や個別の支援会議の開催	A
	③学校見学や体験入学の実施	A
	④教職員の連絡会や交流会の実施	B
	⑤学校見学や職場見学の実施	A
	⑥保護者への情報提供や児童生徒への進路指導の実施	A
H24 成果 及び取組状況	①各園・学校と連携をとりながら、適正に実施できた。 ②各園・学校と連携をとりながら、適正に実施できた。 ③各園・学校と連携をとりながら、適正に実施できた。 ④園と学校との連携は、取組みに差があった。 ⑤各園・学校と連携をとりながら、適正に実施できた。 ⑥各園・学校と連携をとりながら、適正に実施できた。	
H24 課題	①移行支援会議の時期が重なり、時間的に難しさがあった。 ②保護者のニーズは反映できたが、どの就学先が子どもの成長に最も適しているか考えたときには、それが保護者のニーズとマッチしないときの支援の仕方が難しい。 ③学校との事前打ち合わせをしっかり行い、内容を考える。 ④保小の職員間の連携を深めていくことが必要である。 ⑤特になし ⑥特になし	
H25 対応方針	①特別支援学級の授業研究会での指導助言の実施。 ②早い時期から、ゆっくり時間をかけての就学指導の実施。 ③1回ではなく、複数回実施していく。 ④担任どうしが話しあえる会を企画し、実施する。 ⑤昨年度同様に実施していく。 ⑥保護者にしっかりした情報提供をし、自立へ向かえる就学先決定となるような就学支援のあり方について教職員が研修を積むことが必要である。	

3. 学校を支える教育環境の整備

目指すところ	(1) 中学校統合の推進	
施策の自己評価	最終意見書の内容を踏まえて住民説明会を開催し、各方面から意見を聞き、建設場所等の方向性が決定され次第、基本設計に着手する	C
H24 成果及び取組状況	<p>検討委員会がまとめた「新しい校舎並びに付属施設を建設する」という最終意見を踏まえ、具体的な建設場所、統合の形態について町の方針を決定するために町長及び副町長を含めた協議を重ねた結果、12/17町議会一般質問の答弁で新しい場所に建設、または現在の校地のどちらかに建設する旨を町長が表明。</p> <p>1/23及び2/6の議会月例報告会で町の方針として、新しい場所に建設することについて説明を行った。しかし、現在の北浜中学校を耐震補強工事により対応可能であるとか、将来の財政を考慮すれば新築はいかなものかといった意見等があり、次の段階の住民説明会の実施に至っていない。</p>	
H24 課題	<p>本年度の計画では、住民に対して一定の町の方針を説明し、中学校統合について各方面から意見聴取する機会を設け、議会との調整協議のうえ建設場所等の方向性が決定され次第、新しい中学校の基本設計に着手する予定であったが、住民説明会及び基本設計についても未実施である。町の一定の方針を示したが町議会との調整ができていない。</p>	
H25 対応方針	<p>議会との調整が整えば住民説明会を開催する。その後、新しい場所に統合した場合の学校建設における設計前の基本計画を本年度中に策定する（予算計上）。</p>	

目指すところ	(2) 15年一貫教育の創造	
施策の 自己評価	①幼児と児童の交流活動の推進とカリキュラムの共有化、指導者相互の交流	B
	②県の「少人数学級を活かす学びと指導の創造事業」と連携した校内授業研究会の充実	A
	③保幼小・小中それぞれの円滑な接続プログラムの作成	C
	④Q-U 検査等の活用による児童生徒理解の技能を高める研修の実施	B
	⑤食育教育講演会（湯梨浜町・湯梨浜町教育委員会・湯梨浜町PTA連合会主催）の開催	A
H24 成果 及び取組状況	<p>①学校公開や特定の話し合いの場を設定して意見交換を行った。</p> <p>②各校で計画的に行われ、職員は研修を深めることができた。</p> <p>③各園、学校での取組みであった。</p> <p>④県の事業で東郷小・中学校では Hyper-QU を2回、北浜中学校区では秋に1回することになり、県主催の協議会に各校が参加して研修を深めた。</p> <p>⑤PTA研修会に位置づけ参加を募った。</p>	
H24 課題	<p>①交流の機会を増やして、相互理解を図ることが必要である。</p> <p>②中学区へ広げる取組みが足りなかった。</p> <p>③各園・学校での取組みであった。</p> <p>④中学校は初めての調査であり、理解するまでに時間を要する。</p> <p>⑤参加者をさらに増やす。</p>	
H25 対応方針	<p>①引継ぎ、相互理解の会について指導助言を行っていく。</p> <p>②小中合同研修会を実施する。</p> <p>③町教研を活用しての実質的連携を図る。</p> <p>④全小・中学校で2回の調査を予算化したので、有効な活用を図るため校内研修会に町指導主事も関わりを深める。</p> <p>⑤PRして参加を呼びかける。</p>	

目指すところ	(3) 学校支援ボランティアの拡大と定着	
施策の 自己評価	①学校支援コーディネーター連絡協議会の開催	A
	②学校支援ボランティア事業の定着・拡大	B
	③公民館運営審議会等との連携	D
H24 成果 及び取組状況	①年2回開催し、町で共通した取組みを行うことができた。 ②ボランティア登録数も増加し、各校独自のボランティアも見られるようになってきている。 ③特になし	
H24 課題	①特になし ②学校間で取組に差異が見られる。 ③「教育を考える会」で連携を図る予定であったが、民生児童委員との連携が中心となった内容となってしまった。	
H25 対応方針	①今年度と同様、5・1月頃に企画・運営を行う。 ②校長会等で事業の経過を報告し、管理職の理解を深める。 ③公民館関係者へボランティアへの理解を深めるよう働きかける。	

4. 町民1人1スポーツの推進

目指すところ	(1) 生涯スポーツの全国発信	
施策の 自己評価	①第24回グラウンド・ゴルフ発祥地大会の開催	A
	②第33回全国ベテラン卓球大会の開催	A
H24 成果 及び取組状況	<p>①6月9・10日に開催 27府県、337チームの応募をいただき、抽選により192チーム、768名(定数)の参加をいただき開催した。</p> <p>②9月1・2日に開催。H23が台風により大会中止としたため、同回予定開催であったが、回数を改め34回として開催。 11都府県、298名(団体53チーム、個人198名)の参加をいただき開催した。</p>	
H24 課題	<p>①応募数の頭打ち、参加チームの固定化の傾向が見られる。</p> <p>②年々参加者が減少してきており、参加者の定着、増加を図ることが課題となる。また、大会運営に係っていただいている実行委員の方々も高齢となっており、全国大会を開催するにあたり上級審判資格者を置く必要があるが、現在審判長を務めてもらっている方(別所在住、町内で1人)もH25年度で上級審判員の資格が切れるということで存続するかどうかの方向性を出す必要がある。</p>	
H25 対応方針	<p>①開催案内や情報発信の方法等を工夫し、すそ野の拡大を図る。</p> <p>②都道府県協会宛てに大会案内し、より多くの参加者を募る。また、大会参加資格の見直し、拡大を図りローカル大会ならではの参加しやすく、楽しみやすい大会へと改善を図る。また、今後大会を存続するかどうかの方向性を検討する。</p>	



目指すところ	(2) 競技スポーツが継続できる環境整備	
施策の 自己評価	①スポーツ推進委員による町民の体力づくり・ニュースポーツ指導等の推進	A
	②各種競技大会の開催や功労者等の表彰等を実施する町体育協会への補助	A
	③スポーツ少年団の育成支援	A
	④利用調整会の定期的な開催	A
	⑤スポーツ施設の管理	B
	⑥下記大会の継続・充実 <ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツ少年団結団式</li> <li>・町体育協会理事会（総会）</li> <li>・町軟式野球ナイターリーグ大会</li> <li>・町民ソフトボール大会</li> <li>・グラウンド・ゴルフ発祥地大会</li> <li>・ホワイトライアスロン in 湯梨浜</li> <li>・東伯郡民体育大会結団式</li> <li>・東伯郡体育大会</li> <li>・ナイトハイク</li> <li>・東郷湖ドラゴンカヌー大会</li> <li>・県民スポ・レク祭 夏季・秋季・冬季大会</li> <li>・全国ベテラン卓球大会</li> <li>・中部地区駅伝競走大会</li> <li>・町駅伝競走大会</li> <li>・町民グラウンド・ゴルフ大会</li> <li>・町民ゲートボール大会</li> <li>・町民バレーボール大会</li> <li>・新春みんなでかけろう大会</li> <li>・町民バスケットボール大会</li> <li>・町民卓球大会</li> <li>・町体育協会表彰式</li> <li>・町民バドミントン</li> </ul>	A
H24 成果 及び取組状況	①公民館・他団体活動へのニュースポーツ指導を10回実施 スポーツ推進委員の資質向上・意識改革を図るため8月より実施した独自の実技研修を5回実施し、2月・3月は町民大会に合わせ大会場の一部を利用し推進委員が率先してニュースポーツ体験コーナーを設けてスポーツの推進を図った。	

- ②各種町民大会を計画通り実施し、2月17日には体育協会の功労者表彰を行った。
- ③施設使用料の免除、団活動への補助金交付等を行い活動しやすい環境整備を図っている。
- ④例年定期的に活動している団体が多く新規に活動する団体がないため、今年度も年1回2月末にH25年度の利用調整会を実施し利用調整を図った。
- ⑤定期的な維持管理（清掃業務等）を行い、必要に応じて施設・器具などの修繕を行い環境整備を図った。
- ⑥計画通りに実施できた。
- ・スポーツ少年団結団式4/14開催 16団330名参加
  - ・町体育協会理事会（総会）
  - ・町軟式野球ナイターリーグ大会  
5/8～10/2 11チーム参加
  - ・町民ソフトボール大会5/23開催 23チーム参加
  - ・グラウンド・ゴルフ発祥地大会  
6/9・10開催 27府県192チーム768名参加
  - ・ホワイトライアスロン in 湯梨浜  
6/17開催（トライアスロン実行委員会主催）
  - ・東伯郡民体育大会結団式 6/30開催 約400名参加
  - ・東伯郡体育大会 7/7～15 約1,000名参加
  - ・ナイトハイク 8/18開催 68名参加
  - ・東郷湖ドラゴンカヌー大会  
8/26開催（ドラゴンカヌー大会実行委員会主催）
  - ・県民スポ・レク祭 夏季・秋季・冬季大会 323名参加
  - ・全国ベテラン卓球大会  
9/1・2開催 11都府県 298名参加
  - ・中部地区駅伝競走大会9/22開催 2チーム16名参加
  - ・町駅伝競走大会11/3開催 28チーム 168名参加
  - ・町民グラウンド・ゴルフ大会  
11/4開催 38チーム 159名参加
  - ・町民ゲートボール大会11/18開催 5チーム3名参加
  - ・町民バレーボール大会12/2開催23チーム276名参加
  - ・新春みんなでかけろう大会 1/3開催  
天候不良のため羽合小学校体育館にてニュースポーツ体験を実施。26名参加
  - ・町民バスケットボール大会1/20開催16チーム128名

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町民卓球大会 2/3開催 38チーム 228名参加</li> <li>・町体育協会表彰式 2/17開催 個人95名、団体31団体を表彰</li> <li>・町民バドミントン大会 3/10開催 34チーム204名参加</li> </ul>
H24 課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>①さらなるスポーツの推進のため、町報、ホームページを利用した広報活動及び訪問型の教室を実施し、スポーツ振興を図る必要がある。</li> <li>②競技スポーツを継続して行うことのできる環境整備のため、さらなる支援体制の充実が求められる。</li> <li>③育成世代（青少年）への支援を行い、環境整備を行うことは重要なことであり、今後も継続して支援を行うことが必要となる。</li> <li>④施設の有効利用を図るためにも継続し、調整していくことが必要である。</li> <li>⑤今後も継続して施設環境整備に努め、利用促進を図る必要がある。</li> <li>⑥参加者の偏りがあるので、新規事業や参加枠の拡大を図る必要がある。</li> </ul>
H25 対応方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>①現状維持を図りながらさらなるスポーツの推進を図るため、スポーツ推進委員が主催する事業実施を検討。</li> <li>②継続実施を行うとともに、組織の充実強化のための検討協議を行う。</li> <li>③継続して施設利用料の免除、活動補助金の支給などを行う。</li> <li>④継続実施をしながら、状況を見ながら調整の必要があれば随時調整会を実施し、有効活用を図る。</li> <li>⑤継続</li> <li>⑥継続して実施し、競技運営団体と協議を行い、より多くの参加者が集まるように検討する。</li> </ul>

目指すところ	(3) 健康づくりのウォーキング	
施策の 自己評価	①ナイトハイクの開催	B
	②ナイトハイクを利用した教室の開催	B
	③広報活動の企画	A
	④グラウンド・ゴルフ発祥地大会の充実	B
	⑤町民グラウンド・ゴルフ大会の充実	B
H24 成果 及び取組状況	<p>① 8月に実施した。スタート前に生活習慣病防止の説明会がありウォーキングの大切さを実感できる大会になった。</p> <p>② 健康推進課が主催するノルデックウォーク教室を開催した。</p> <p>③ ナイトハイク・新春みんなでかけろう会において、健康推進課と合同でノルディックウォーキングの部を新たに追加し合同開催を行った。</p> <p>④ 6月に開催 27府県 768名の参加があった。</p> <p>⑤ 11月に開催 73チーム 302名の参加があった。</p>	
H24 課題	<p>① 生活習慣病説明会の時間を十分確保する必要がある。</p> <p>② PR活動が不十分なところがあった。</p> <p>③ 始めたばかりもあってか、参加者が少なかったように思えるので、広報を十分にすることが必要である。</p> <p>④ 参加者の固定化傾向が見受けられるので、さらなる魅力づくりが必要となる。</p> <p>⑤ 参加者が定員に満たない状況が続いている。参加者の増への取組が必要である。</p>	
H25 対応方針	<p>① 健康推進課と連携し、企画立案に努める。</p> <p>② チラシ配布、ポスター掲示等広報活動に努める。</p> <p>③ 継続して町報、ホームページ、呼びかけあいを行い参加者の増加に努める。</p> <p>④ 継続開催</p> <p>⑤ 継続開催</p>	

5. 歴史的文化遺産の活用と新たな文化の創造

目指すところ	(1) 文化財解説ボランティアガイドの育成	
施策の 自己評価	①文化財見学会事業による史跡・博物館等での現地研修実施	A
	②地域の歴史を再確認するためのふるさと再発見事業の活用	A
	③保存・伝承活動を行う団体に対する文化財保護団体育成事業の活用	A
	④文化財解説ボランティアの配置・充実	C
H24 成果 及び取組状況	<p>①文化財見学会「古事記編纂1300年記念・古代出雲の文化を訪ねて」を11月8日(木)、島根県出雲市において参加者32人により実施した。 ※アンケート結果:「良かった」と回答した者が92%であった。</p> <p>②ふるさと再発見湯梨浜学講座を年2回、羽衣石地区と長江地区において参加者延46人により実施した。 「羽衣石を訪ねる」6/27(水)27人参加 ※アンケート結果:「良かった」と回答した者が89%であった。 「長江を訪ねる」3/14(木)29人参加 ※アンケート結果:「良かった」と回答した者が82%であった。</p> <p>③町内の5つの文化財保護団体(東郷浪人踊保存会、宇野三ツ星踊り保存会、橋津ふるさとの文化を守る会、泊貝がら節保存会、泊大名行列保存会)に対し育成補助金を交付。また、小・中学校の総合学習の一環として、保存会員による講師を派遣依頼した。 さらに、文化団体保護団体意見交換会を1月18日(金)に実施し、各団体の抱える問題等について意見交換を行った。</p> <p>④産業振興課、企画課と詳細に(運営方法、会員規約等)について継続協議中</p>	
H24 課題	<p>①単発の企画にならないよう継続して実施していくことが必要である。</p> <p>②現地説明員のいない地域もあり、人材の掘り起しが必要である。</p> <p>③各団体とも高齢化しており、若年層の団体への加入者がいない。</p> <p>④ボランティアの育成及び運営方法の検討。</p>	
H25 対応方針	<p>①魅力のある企画となるように情報・資料収集に努める。</p> <p>②町内の歴史・文化を研究しているグループ等と連携し、情報収集に努める。</p>	

	<p>③個々の団体の活動だけではなく、各団体の意見交換及び交流が図られ、文化を保存継承していくよう、協議会組織を立ち上げる。</p> <p>④関係課、関係機関及び各団体等と連携し、ボランティアの育成を行うとともに、運営方法、規約等ボランティアの環境整備を行う。</p>
--	--

目指すところ	(2) 文化活動のサークル育成	
施策の 自己評価	①公民館事業計画・推進並びに新たな生涯学習推進体制のあり方について意見を求める公民館運営審議会の開催	D
	②公民館長・主事による連絡協議会の開催	A
	③公民館事業、活動の推進を図るため、公民館活動の委託事業を利用した各種事業	A
	④公民館職員研修会による職員の資質向上	B
	⑤自発的に趣味や技芸を習得し、交流と親睦を図るため湯梨浜町文化団体協議会加盟連盟団体の連携強化、交流を通じた情報発信の強化	B
	⑥町内サークル等の学習成果の発表機会を提供し、更なる活動の充実と交流促進、底辺の拡大	A
H24 成果 及び取組状況	<p>①生涯学習推進体制について、答申を踏まえた新しい公民館体制のあり方について住民説明会開催まで。新しい公民館体制について報告段階に至らず未実施である。</p> <p>②公民館連絡協議会（館長・主事会）開催状況  5月 会長、副会長選任。地区公民館活動委託料配分協議  10月 今後の公民館体制のあり方協議  2月 新しい公民館体制についての住民説明会結果報告及び協議</p> <p>③各地区公民館委託事業の実施（主なもの）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・長瀬地区公民館  女性（防災、子ども&amp;若者支援講演会）青少年（社会見学、野外体験）一般振興（人権教育：盲導犬は今）</li> <li>・田後地区公民館  女性教育（料理教室）青少年（そば打ち体験、リサイクル工作）一般振興（公民館まつり）成人（講演会、健康教室）体育（ニュースポーツ大会）</li> <li>・上浅津地区公民館  一般振興（ふれあい祭り、運動会）青少年（スキー教室、卓球大会、さつまいも植え、収穫）成人（ふれあいサロン）</li> <li>・浅津地区公民館  家庭青少年教育（蛍観察会、工作教室、料理教室）女性（フラワーアレンジメント）体育（グラウンドゴルフ）一般振興（運動会）成人（いきいきサロン）</li> <li>・橋津地区公民館</li> </ul>	

	<p>青少年(ニュースポーツ、花いっぱい運動、ハイキング)・体育 (区民ウォーキング、グラウンドゴルフ大会)・女性(料理講習)・一般振興(運動会)</p> <p>・宇野地区公民館 女性教育(健康教室、手芸教室) 青少年(新春書初め大会) 体育(バレーボール大会) 成人(男の料理教室)</p> <p>・舎人地区公民館 女性教育(講演会) 成人教育(野方の歴史探訪、絵画教室) 青少年(ちまき作り) 一般振興(舎人夏まつり、作品展)</p> <p>・松崎地区公民館 体育(健康ウォーク:町並み散策、健康体操) 女性(塗り絵、ロシア料理教室、手芸教室) 青少年(陶芸、木工) 成人教育(異年代交流グラウンドゴルフ大会、ステンドグラス作り)</p> <p>・東郷地区公民館 一般振興(梨の里ふるさと祭り) 青少年(スポーツチャンバラ、パソコン教室)・成人(グラウンドゴルフ、しめ縄作り) 女性(料理講習、視察研修)</p> <p>・花見地区公民館 成人教育(陶芸教室、寄せ植) 一般振興(納涼まつり、作品展) 女性教育(防災、折紙教室、洋裁教室) 青少年(星を観る会、子ども料理教室) 体育(スポーツレク・ニュースポーツ体験)</p> <p>④公民館職員研修会への参加</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県社会教育振興大会(10月)</li> <li>・中部地区生涯学習実践研究交流会(11月)</li> <li>・郡公連主事部会研修会(年4回)</li> </ul> <p>⑤町文化団体協議会関係</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・町文化団体協議会加盟団体への活動支援金補助(8月)</li> <li>・アロハフレンドシップ実行委員会に参画、交流パーティーへの参加</li> <li>・加盟団体交流事業(島根県展鑑賞会 11月)</li> </ul> <p>⑥住民作品展…10/24～28 羽合分館・アロハホール 出展者数 429人 出展作品数 705点 湯梨浜芸能大会…11/18 アロハホール 出演団体数 37団体 出演者数 198人</p>
--	---



<p>H 24 課 題</p>	<p>①新しい公民館体制への移行理解と併せて、公設集会施設の使用料の調整を行い審議会へ報告、協議すること。</p> <p>②新しい公民館体制移行へのステップとして、中央公民館と地区公民館長、主事の連携強化を図る。</p> <p>③地区公民館活動推進委託事業の精査が必要である。</p> <p>④地区公民館長、主事の公民館職員研修会への積極的な参加。</p> <p>⑤町文化団体協議会の自主、独立運営への移行が必要である。</p> <p>⑥作品展や芸能大会の出展・出演者は充実しているが、観客数の増へつなげる方策が必要である。</p>
<p>H25 対応方針</p>	<p>①新しい公民館体制移行に向けて、町内公設集会施設の使用料調整を早急に行う。</p> <p>②新しい公民館体制移行に向けて、館長・主事会（仮称：分館会議）を開催し、相互の連携を密にする。</p> <p>③公民館体制の見直しに併せ分館会議（仮称）において事業精査を実施し、中央公民館と地区公民館の役割分担を明確にしながら共通理解のもと事業の試行に入る。</p> <p>④県及び県公連や郡公連の実施する研修会への積極的な参加。</p> <p>⑤町内各種文化団体の交流の場の増設や積極的な情報発信をするとともに、町文化団体協議会の活動強化と自主、独立運営に向けて支援をする。</p> <p>⑥魅力ある目玉を企画し、積極的に情報発信、PRに努め観客数の増を図る。</p> <p>各地域で独自に活動されているサークル、団体の情報収集を行い交流促進、底辺の拡大に資する。</p>

6. 湯梨浜町教育振興基本計画の推進に向けた体制づくり

目指すところ	(1) 町民との協働による開かれた教育行政の推進	
施策の 自己評価	①教育行政の点検及び評価の実施・公表	A
	②教育委員会定例会、校長会等への適切な報告・提案	A
	③湯梨浜町教育振興基本計画の策定・公表	A
H24 成果 及び取組状況	①6月定例議会に報告済み。11月には中間評価も実施した。 ②必要に応じて学校現場での出来事や懸案事項について報告した。 ③8月に策定、9月にホームページに、10月に町報に掲載した。	
H24 課題	①特になし ②特になし ③特になし	
H25 対応方針	①今年度の取組を進め、PDCA サイクルを明確にする。 ②懸案事項を設定し、定期的に報告する。 ③教育要覧を毎年度策定し、基本計画の目標の実現に努める。	

目指すところ	(2) 関係機関・団体との連携・協力の推進	
施策の 自己評価	①少人数を活かす学びと指導の創造事業、子どもたちの社会性を育む事業の活用	A
	②中部教育局の要請訪問の活用	B
	③東郷小学校の研究推進における鳥取大学教授の講師招聘	A
H24 成果 及び取組状況	①実施計画通りに事業を執行することができた。 ②各校が活用し、校内研究体制を推進することができた。 ③計画的な講師の指導により、図画工作科の研究推進を深めることができた。	
H24 課題	①各校の学力向上、不登校児童生徒数の減少等につなげる手だてが必要である。 ②他の会議等のため、町の指導主事が参加することができないことがあった。 ③予算確保のみではなく、町指導主事の参加が必要である。	
H25 対応方針	①町教研を中心とした学力向上・不登校対策の推進が必要となる。 ②中部指導主事会との連携強化を図る。 ③指導主事が参加できる体制づくりを図る。	

## 教育委員会議及び教育委員の活動

湯梨浜町教育委員会委員

(H25. 4. 1 現在)

職名	氏名	就任年月日	任期	保護者
委員長	前田 三郎	H24. 12. 25	H28. 12. 24	
同職務代理者	熊坂かつ枝	H23. 12. 25	H27. 12. 24	
委員	櫻井 俊子	H21. 12. 25	H25. 12. 24	○
委員	中川 裕章	H22. 12. 25	H26. 12. 24	
教育長	土海 孝治	H24. 12. 25	H28. 12. 24	

### ○委員の異動

平成24年12月24日に任期満了となった前田委員及び土海委員が、同年12月25日に引き続き任命されました。

### 教育委員会議・教育委員の活動実績等について

平成24年度につきましては、教育委員会議は毎月の定例会の中で教育委員会規則等の一部改正、要保護・準要保護児童生徒の認定、学校評議員などの委嘱のほか12月、3月に臨時会を開催しました。また、中学校の統廃合を協議する中で、1月には兵庫県新温泉町立浜坂中学校を視察し建設に至った経過及び事業概要、さらに工事内容等について担当者等から詳細を聴き取りを行い、統廃合の検討材料の参考とした。

#### 《1》 教育委員会議の平成24年度開催実績

教育委員会議は、毎月1回定例会を開催するほか、必要に応じて臨時会を開催しております。

#### 教育委員会の開催状況（平成24年4月～平成25年3月）

年月日	会議名	議案番号	議案件名等
24. 4. 20	第5回定例会	19	専決処分の承認を求めることについて（教育委員会職員の異動）
		20	専決処分の承認を求めることについて（湯梨浜町立小学校医及び中学校医の委嘱）
		21	平成24年度要保護及び準要保護児童生徒の追加認定について 教育長の報告5件、協議事項1件、報告連絡事項1件、その他
24. 5. 23	第6回定例会	22	専決処分の承認を求めることについて（教育委員会職員の異動）

		23	専決処分の承認を求めることについて（学校評議員の委嘱）
		24	専決処分の承認を求めることについて（社会教育委員の委嘱）
		25	平成24年度要保護及び準要保護児童生徒の追加認定について
			教育長の報告3件、協議事項2件、報告連絡事項1件、その他
24.6.22	第7回定例会	26	専決処分の承認を求めることについて（平成24年度湯梨浜町一般会計補正予算（第1号））
		27	湯梨浜町招致外国青年就業規則の一部を改正する規則について
			教育長の報告3件、報告連絡事項3件、その他
24.7.27	第8回定例会	28	外国語指導助手の任命について
		29	平成24年度要保護及び準要保護児童生徒の追加認定について
			教育長の報告4件、協議事項2件、報告連絡事項2件、その他
24.8.22	第9回定例会	30	平成24年度要保護及び準要保護児童生徒の追加認定について
			教育長の報告3件、報告連絡事項2件、その他
24.9.27	第10回定例会	31	専決処分の承認を求めることについて（平成24年度湯梨浜町一般会計補正予算（第2号））
		32	専決処分の承認を求めることについて（公民館運営審議会委員の委嘱）
		33	平成24年度要保護及び準要保護児童生徒の追加認定について
			教育長の報告2件、報告連絡事項4件、その他
24.10.26	第11回定例会	34	湯梨浜町立幼稚園管理規則の一部を改正する規則について
			教育長の報告1件、協議事項1件、報告連絡事項3件、その他
24.11.28	第12回定例会		教育長の報告3件、報告連絡事項4件、その他
24.12.12	第13回定例会		教育長の報告1件、報告連絡事項6件、その他
24.12.25	第14回臨時会	35	湯梨浜町教育委員会教育長の任命について
		36	湯梨浜町教育委員会委員長職務代理者の指定について
			その他
25.1.17	第1回定例会	1	湯梨浜町立小学校及び中学校の区域外就学に関する認定要綱の一部を改正する訓令について
		2	平成24年度要保護及び準要保護児童生徒の追加認定について
			教育長の報告1件、協議事項1件、報告連絡事項3件、その他
25.2.21	第2回定例会	3	専決処分の承認を求めることについて（湯梨浜町文化財保護委員の任命）
		4	専決処分の承認を求めることについて（湯梨浜町全国大会等派遣補助金交付要綱を廃止する訓令）
		5	専決処分の承認を求めることについて（湯梨浜町全国大会等派遣補助金交付要綱内規を廃止する内訓）
		6	専決処分の承認を求めることについて（湯梨浜町全国大会等派遣補助金

			交付要綱の制定)
		7	平成24年度湯梨浜町一般会計補正予算(第5号)について
		8	平成25年度湯梨浜町一般会計当初予算について
		9	湯梨浜町都市公園条例の一部を改正する条例について
		10	湯梨浜町同和教育研究推進員の設置及び運営に関する規則の一部を改正する規則について
		11	湯梨浜町人権教育推進員の設置及び運営に関する規則の一部を改正する規則について
		12	湯梨浜町同和教育推進協議会補助金交付要綱の一部を改正する訓令について
		13	湯梨浜町小・中学校同和教育推進補助金交付要綱の一部を改正する訓令について
		14	教育財産の引継ぎについて
		15	平成24年度要保護及び準要保護児童生徒の追加認定について
		16	平成25年度要保護及び準要保護児童生徒の認定について
			教育長の報告2件、報告連絡事項3件、その他
25.3.12	第3回臨時会	17	平成25年度県費負担教職員の人事内申について
			その他
25.3.25	第4回定例会	18	湯梨浜町地区会館の設置及び管理に関する条例を廃止する条例について
		19	湯梨浜町地区会館の設置及び管理に関する条例施行規則を廃止する規則について
		20	湯梨浜町立図書館管理運営規則等の一部を改正する規則について
		21	羽合図書室利用内規の一部を改正する内訓について
		22	教育委員会及びその他の教育機関の職員の任免等について
		23	湯梨浜町人権教育推進員の任命について
		24	湯梨浜町地区公民館長及び主事の任命について
		25	湯梨浜町スポーツ推進委員の委嘱について
		26	平成25年度要保護及び準要保護児童生徒の認定について
			教育長の報告7件、報告連絡事項4件、その他

※定例会、臨時会を含めて14回、44議案を審議決定した。

## 《2》 教育委員の活動実績

教育委員の活動としては、町内小・中学校への計画訪問(学校訪問)、各種社会教育事業への参加、県内並びに中部地区各教育委員会で合同の研修会も行っております。

《教育委員の活動状況（平成24年4月～平成25年3月）》

計画訪問（学校訪問）

年月日	学校名等	協議内容等
24.5.14	羽合小学校B	1 授業参観（2・3校時） 2 校長説明・委員質疑
	東郷小学校A	1 校長説明・委員質疑 2 授業参観（5・6校時） 3 意見交換会
24.5.22	泊小学校B	1 授業参観（2・3校時） 2 校長説明・委員質疑
24.5.29	東郷中学校A	1 校長説明・委員質疑 2 授業参観（5・6校時） 3 意見交換会
24.5.30	北浜中学校A	1 校長説明・委員質疑 2 授業参観（5・6校時） 3 意見交換会
24.10.19	東郷小学校B	1 授業参観（3・4校時） 2 校長説明・委員質疑
	羽合小学校A	1 校長説明・委員質疑 2 授業参観（5・6校時） 3 意見交換会
24.10.31	北浜中学校B	1 授業参観（3・4校時） 2 校長説明・委員質疑
	泊小学校A	1 授業参観（5校時） 2 校長説明・委員質疑 3 意見交換会
24.11.16	東郷中学校B	1 校長説明・委員質疑 2 授業参観（3・4校時）

その他主な教育委員活動

年月日	場所等	研修内容等
24.4.3	役場講堂	転入教職員着任式
24.4.9	各小中学校	入学式
24.5.21	倉吉市	鳥取県知事と語る会
24.6.1	北栄町	平成24年度東伯地区教育委員会連絡協議会総会並びに研究大会

24. 6. 9～10	潮風の丘とまり	第 24 回「ラクト・ゴルフ」発祥地大会開会式(委員長が実行委員)
24. 6. 24	ハイアールホール	人権コンサート(町民の集い)
24. 7. 6	倉吉市	平成 24 年度鳥取県市町村教育委員会研究協議会定期総会並びに研究大会
24. 6. 30	羽合小学校	第 58 回東伯郡民体育大会湯梨浜町選手団結団式
24. 7. 8	琴浦町ほか郡内	第 58 回東伯郡民体育大会開会式、各競技会場激励廻り
24. 8. 8～9	鳥取市他	第 37 回人権尊重社会を実現する鳥取県研究集会
24. 8. 27	倉吉市	平成 24 年度市町村(学校組合)教育委員会教育委員研修会
24. 9. 1～2	あやめ池スポーツセンター	第 34 回全国ベテラン卓球ゆりはま東郷大会
24. 10. 21	ハイアールホール	湯梨浜町人権教育推進大会
24. 1. 3	ハイアールホール	湯梨浜町成人式
25. 3. 12	各中学校	卒業式
25. 3. 19	各小学校	卒業式